

# 植物の生き残り作戦

# その1 ~ 光の確保 ~

私たちの周りではさまざまな植物が見られますが、植物どうしの間でも、成長に必要な光や栄養分を確保するための競争が繰り広げられています。これを種間競争といいます。今回は、その種間競争に勝ちぬくための植物の工夫を紹介します。

## ◇葉の広げ方を工夫して光を獲得

多くの植物は、光と水、二酸化炭素から成長に必要なエネルギーを作り出す光合成という仕組みをもっています。少しでも多くの光を確保するため、様々な方法で葉を広げて光が当たる面積が広がるようにしています。



**幹（茎）をのばす**  
しっかりとした幹や茎を伸ばすことで高い位置でも葉を広げることができます。



**ロゼット・地下茎を広げる**  
高木の下でも光を逃さないよう、地面に水平に葉や地下茎を広げます。写真のように円形に葉を広げる形をロゼットといいます。



**つるをのばす**  
他の植物や塀などをつたって、広い面積で葉を広げます。



# 植物の生き残り作戦その2～種子を運ぶ～

植物は子孫を残し、生息範囲を広げるために種子を作ります。

種子をより遠くまで運ぶ工夫をしています。

## ● 風でとばす



タンポポの綿毛

## ● 動物などにくっつく



コセンダングサの種子

## ● 川や海流に流されて運ばれる



はな  
花

ハマダイコン

しゅし  
種子



## ● 鳥や動物に運んでもらう

(巣に運ばれる食べ物やフンとして)



## ほんがいへん 番外編

セイタカアワダチソウは根や地下茎からアレロパシーという

ほかの植物の成長を妨げる物質を出して、急速に自身の分布

域を広げていきます。また、新たなほかの種類の植物の侵入も

防ぐことから、優先的に繁茂すると言われています。

